

事業コード	H26-建-新-04		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	二次改築(現道拡幅)		班 名	調整・企画管理班 (tel) 018-860-2483
路線名等	主要地方道 横手大森大内線		担当課長名	柴田 公博
箇所名	横手市三本柳		担当者名	浅井 学
総合計画との関連	政策コード	03	政 策 名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H27 ~ H33 (7年)		総事業費	13.4億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=2,200m 幅員 W=6.5(12.0)m (2.5-1.5-3.25-3.25-1.5)						
事業の立案に至る背景	<p>主要地方道横手大森大内線は、横手市横手町と由利本荘市新田を結ぶ県道である。旧横手市、旧大雄村、旧大森町、旧大内町を經由し、国道13号と国道105号を結ぶ主要な幹線道路であり、産業振興や救急医療、地域防災などの機能を担う非常に重要な路線である。</p> <p>当該区間の車道幅員は狭く、沿線には物流基地が点在し車両交通量が多く混雑が多発する。一方で横手地区統合小中学校や平鹿総合病院などの公共施設が周辺に存在し事故が多発している。</p> <p>第二次緊急輸送道路に指定されている本路線の機能を保持するためにも、早期に整備を実施する必要がある。</p>						
事業目的	<p>○緊急輸送道路としての機能を確保する(第二次緊急輸送道路)</p> <p>○現道拡幅整備による安全で円滑な交通の確保</p> <p>・幅員の確保による車両等通行の安全性向上</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度以降
	事業費		1,344,000	50,000	239,000	459,000	596,000
	経費内訳	工事費	475,000		80,000	80,000	315,000
		用補費	812,000	5,000	157,000	377,000	273,000
		その他	57,000	45,000	2,000	2,000	8,000
	財源内訳	国庫補助	940,800	35,000	167,300	321,300	417,200
		県債	362,880	13,500	64,530	123,930	160,920
その他							
一般財源		40,320	1,500	7,170	13,770	17,880	
事業内容			用地測量、土地建物調査	用地買収、建物補償、道路土工	用地買収、建物補償、道路土工	用地買収、建物補償、道路土工	
調査経緯	<p>○平成22年度 道路概略設計</p> <p>○平成24年度 道路予備設計</p>						
上位計画での位置付け	○第2期ふるさと秋田元気創造プラン重点戦略(観光・交通戦略)の「地域間ネットワークの構築」を推進する事業						
関連プロジェクト等	<p>○統合小・中学校(横手北小学校:平成28年4月開校予定、横手北中学校:平成25年4月開校)</p> <p>○横手地区 ほ場整備事業(平成27年度事業化予定)</p> <p>○横手北スマートIC(仮称)(平成30年完成予定)</p>						
事業を取り巻く情勢の変化	<p>○平成19年4月に平鹿総合病院が当該区間の南部に移転</p> <p>○平成26年6月に横手北スマートIC(仮称)協議会の初会合において建設予定地等が決定、同年秋にも国土交通省から認可を受ける見通し。</p>						
事業効率把握の手法	指標名	県道改良率					
	指標式	各市町村役場から30分以内到達圏域の人口比率					
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無		
	目標値 a	97.2 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	98.6 %					
達成率 b/a	101.4 %		把握の時期	平成26年 4月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○車道幅員が5.5mと狭く、冬期堆雪中も確保されていないことから、車両の安全な運行に支障を来している。 ○死亡事故1件を含む死傷事故が平成12年から23年の間にかけ38件発生している。	28点
緊 急 性	○平成23年度の塚堀工区(延長2,801m 幅員6.0(11.0)m)の完成により、国道13号と平成30年度完成予定の横手北スマートIC(仮称)建設予定地を結ぶ区間において道路構造規格を満足していないのは当該区間のみとなっている。 ○現況交通量に対して必要な幅員が道路構造令の規定(車道幅員6.5m)を満足していない。狭い車道が混雑多発の一因であるため、早期の拡幅を要する。	20点
有 効 性	○第二次緊急輸送道路に指定されており、整備による機能強化が期待される。 ○三次救急医療施設等である平鹿総合病院へのアクセス性が改善され、救命救急体制の強化が期待される。	14点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.06であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 11.3億円 ・総便益の現在価値 12.1億円 ○計画交通量は8,100~15,200台/日である。	15点
熟 度	○地元および横手市より道路整備の要望が出されている。	15点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	92点
	判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 評価結果から事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該路線は横手市と由利本荘市を結ぶ県道であり、国道13号と国道105号を結ぶ主要な幹線道路であるが、当該区間の車道幅員は狭く渋滞が発生し、事故も多発している。そのため現道拡幅の必要性及び有効性は高く、また横手北スマートIC(仮称)の完成に向けて当該区間の道路構造規格を満たすための緊急性も高いことから、事業実施の一次評価は妥当と判断される。	

4. 財政課長意見

意 見 内 容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
計画区間は、車道の幅員が狭く慢性的に交通渋滞となっており事故が多発している。付近には小中学校や平鹿総合病院があるほか、今後横手北スマートICの整備により交通量の増大が予想され、安全で円滑な交通の確保を図る観点から事業実施の優先度は高いと判断される。また、効果的かつ安価となる工法を採用するなどコスト削減も検討されており妥当である。	

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業の実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 新規箇所評価
 適用基準名 道路改築事業（地域間交流・連携促進）

事業コード (H26-建-新-04)
 箇所名 (横手市三本柳)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題 道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>5% ・冬期堆雪巾なし 道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・現道の旅行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生 計	3箇所以上	17	0	2次改築事業については該当しない。
		2箇所	12		
		1箇所	7		
		0箇所	0		
		5件該当	18		
		4件該当	14		
		3件該当	10		
		2件該当	6		
		1件該当	3		
		該当項目なし	0		
計		35	28		
緊急性	道路をとりまく環境等 関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業 緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等 計			10	
		あり	10		
		なし	0		
		あり	10		
		なし	0		
計		20	20		
有効性	道路の位置づけ 緊急輸送路 救急医療施設へのアクセス 計	第1次輸送路	8	7	
		第2次輸送路	7		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
		直接アクセスする	7		
		間接的に補完する	5		
アクセスへの貢献は小さい	1				
計		15	14		
効率性	事業の投資効果等 費用便益比 (B/C) 計画交通量 計	1.0以上	10	5	
		1.0未満	0		
		5,000台/日以上	5		
		1,000台/日以上5,000台/日未満	3		
1,000台/日未満	0				
計		15	15		
熟度	地元の状況 地元ニーズ 地元の協力体制 計	文書要望あり	10	10	
		口頭要望あり	5		
		要望なし	0		
		あり	5		
		なし	0		
計		15	15		
合計			100	92	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		